



「有徳の人」づくりの推進



令和5年7月

スポーツ・文化観光部 総合教育局



“ふじのくに”における教育の基本理念

ふじのくに「有徳の人」づくり大綱

基本理念：「有徳の人」の育成
～誰一人取り残さない教育の実現～

- “ふじのくに”づくりの礎は“人”
- 霊峰・富士の姿のように、気品をたたえ、調和した人格を持つ「士」すなわち「有徳の人」の育成が“ふじのくに”の教育理念



静岡県教育振興基本計画

第1章 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

- ① 「知性」・「感性」を磨く学びの充実
- ② 「技芸を磨く実学」の奨励
- ③ 学びを支える魅力ある学校づくりの推進

第2章 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

- ① 多様性を尊重する教育の実現
- ② グローバル・グローバル人材の育成
- ③ 高等教育の充実
- ④ 生涯を通じた学びの機会の充実

取組 1

第3章 社会総がかりで取り組む教育の実現

- ① 社会とともにある開かれた教育行政の推進
- ② 地域ぐるみの教育の推進

取組 2

■ 取組 1 「未来を切り拓く Dream 授業」 (8月)

～グローバル・グローバル人材の育成～



予定講師

 子どもを好きな 学者知事 川勝 平太 KAWAKATSU Heita 静岡県知事	 夢をえがこう 矢野 弘典 YANO Hironori (一社)ふじのくにづくり支援センター理事長 (公財)産業雇用安定センター会長	 パラレルキャリア のすすめ 榊野 展正 KUSHINO Nobumasa アーツカウンシルしずおか チーフプログラム・ディレクター
 東京五輪 金メダリスト 渥美 万奈 ATSUMI Mana ソフトボール元日本代表	 生物学を 産業に活かす 木南 竜平 KINAMI Ryuhei 近畿大学水産研究所 助教	
 農業を変える 起業家 加藤 百合子 KATO Yuriko 株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役	 多様性のある新しい 社会の在り方を研究 高畑 幸 TAKAHATA Sachi 静岡県立大学教授	 静岡から世界へ 新しい舞台芸術 静岡県舞台芸術センター SPAC 県立劇団 (演劇・舞台芸術)



県内の中学 1・2 年生 30 人を対象に
3 泊 4 日で実施(総合教育センター)
個々の能力を更に伸ばす機会を提供

■ 取組 2 ① 「人づくり推進員」の委嘱

～地域ぐるみの教育の推進～



- ・人づくり地域懇談会での講演
- ・自主的な活動での助言、啓発

- 家庭や地域での人づくり実践活動を促進するため、平成12年度から「人づくり推進員」を委嘱(令和5年度までに累計327人委嘱)
- 県内で95名(R5.7月現在)が活動



Give ample praise! (ほめちぎろう!)

- ・人はいつになってもほめられたい
- ・ほめるとつけあがる? ○心に変化が生じる
- ・結果でなく、過程(行動)をほめる
- ×いい字だね ○自分でできたね
- ×いいね ○がんばったね

■ 取組 2 ② 「人づくり推進員」の活動 ～地域ぐるみの教育の推進～



【子どもの遊び基地】（静岡市）
駄菓子屋など、子どもの居場所
をつくる活動



【子ども塾】（焼津市）
凧づくり、コマまわしなど、
楽しみながら伝統を学ぶ



【ドキドキわくわく冒険隊】
（伊東市）
放課後子ども教室や多世代食堂
（子ども食堂）など



【ふれあいサタデーパーク】
（藤枝市）
集団活動の楽しさや人との
関わり方を学ぶ

県総合教育会議・実践委員会における協議・調整

実践委員会の意見を踏まえ、総合教育会議において、知事と教育委員会が教育課題を協議・調整し、社会総がかりの教育に向けた施策を推進

地域自立のための
「人づくり・学校づくり」
実践委員会
〔様々な分野の有識者19名〕
委員長：矢野弘典氏
（一社）ふじのくにづくり支援
センター理事長



静岡県
総合教育会議
知事
協議 ↔ 調整
教育委員会

課題 ↓ ↑ 提案

報告 ↑ ↓ 指示

才徳兼備の人づくり
小委員会

合意事項の具現化

〔有識者5名〕
委員長：高畑幸氏
静岡県立大学国際関係学部教授

知事部局
関連部署
教育委員会
事務局





富国有徳の「美しい”ふじのくに”」の未来を担う「有徳の人」
の育成に向けて、

- ・ 自らの個性に応じて「才」を磨き、
- ・ 自他を大切にしながら「徳」を積み、
- ・ 社会や人のために貢献する
「才徳兼備」の人づくりを進めてまいります。